



田崎 廣助「桜島」 油彩画 F3号



# 自然を描く

2021.12.10 FRI – 2022.2.19 SAT

十八親和アートギャラリーでは、12月10日より冬季企画展「自然を描く」を開催いたします。

古くから人々の暮らしは季節や天候によって様々な様相を見せる自然とともにあり、多くの画家たちが変化に富む自然界の事象を、独自の視点や表現を用いて作品へと昇華させてきました。本展では、棟方志功の肉筆画「ワシ」をはじめ、九州ゆかりの児島善三郎、田崎廣助の油彩画、武田由平の木版画、松崎良太の日本画など、異なる技法によって描かれた作品をご紹介します。

このほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアイコンなど約140点の常設展示も行っています。

田崎 廣助(たさき・ひろすけ): 1898~1984。福岡県八女郡生まれ。22歳で画家を志して上京。小学校図画教師のかたわら、安井曾太郎や同郷の坂本繁二郎に師事する。1926年二科展初入選。1932年から1935年まで渡欧しパリにアトリエを構え、1933年サロン・ドートヌヌに3点が入選。帰国後は東洋的な美しさを再認識し、洋画で阿蘇や桜島など日本各地の山を描き「山岳画家」として知られる。一水会を中心に日展や現代日本美術展などで発表。文化勲章受章、日展理事、日本芸術院会員。

十八親和アートギャラリー

鑑賞 無料

[開館時間] 10:00~16:00(入館は15:30まで)

[休館日] 日・月・祝日、年末年始(12/31~1/3)

※土曜日が祝日の場合は開館

